

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	遺骨伝達等事業			担当部局庁	社会・援護局		作成責任者		
事業開始年度	昭和26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	事業課		望月 文明		
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅶ-3-2 戦没者遺骨収集帰還事業等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省設置法第4条第1項第105号 厚生労働省組織令第108条 地方自治法附則第10条(旧軍関係調査事務委託費)			関係する計画、通知等	復員業務規定(昭26) 「戦没者遺骨のDNA鑑定に関する検討会報告書」(平15.3) 「日韓定期閣僚会議」の了解事項(昭44.8)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	先の大戦における戦没者遺族の慰藉を目的として、遺骨収集帰還により帰還した遺骨をDNA鑑定や遺留品調査等により、身元特定を行い遺族に伝達する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外等で収容された先の大戦における戦没者の遺骨については、遺留品調査等により身元が特定された場合に遺族へ伝達しており、平成15年度以降は遺骨から有力なDNAを抽出できるなど一定の条件を満たす場合に、希望する遺族に対しDNA鑑定を実施し、身元特定に至った場合も同様に伝達している。遺族に引き渡すことのできない遺骨は、国内で再焼骨後、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨している。また、当局保管の朝鮮半島出身旧軍人軍属の遺骨については韓国及び北朝鮮政府に返還するものであり、返還に関する基本的事項に合意している韓国政府に対して遺骨の返還に向けた協議を行っている。								
実施方法	直接実施、委託・請負、補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	136	128	122	117			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	131	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		267	128	122	117	0		
	執行額		221	106	97				
執行率(%)		83%	83%	80%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	平成27年度は、DNA鑑定の実施見込みを勘案し85件の伝達を行う。	戦没者御遺族への遺骨伝達件数	成果実績	件	30	59	68		
			目標値	件	89	80	90	85	
			達成度	%	33.7%	73.8%	75.6%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	平成27年度は、過去3年実績の平均である1,566柱の納骨を行う。	千鳥ヶ淵戦没者墓苑への戦没者遺骨の納骨数	成果実績	柱	1,228	1,628	1,843		
			目標値	柱	1,727	1,778	1,515	1,566	
			達成度	%	71.1%	91.6%	121.7%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	DNA鑑定件数	活動実績	件	97	194	190			
		当初見込み	件	104	83	112	160		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	千鳥ヶ淵戦没者墓苑への戦没者遺骨の納骨数	活動実績	柱	1,228	1,628	1,843			
		当初見込み	柱	1,727	1,778	1,515	1,566		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:遺骨伝達等事業に要した経費 Y:遺骨伝達数及び納骨数の合計			単位当たりコスト	千円	71.5	62.8	50.8	70.9
				計算式	X/Y	90百万円/1,258件	106百万円/1,687件	97百万円/1,911件	117百万円/1,651件
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1							
	職員旅費	1							
	委員等旅費	1							
	遺骨収集帰還等旅費	0							
	遺骨収集帰還等庁費	111							
	旧軍関係調査事務等委託費	3							
計	117	0							

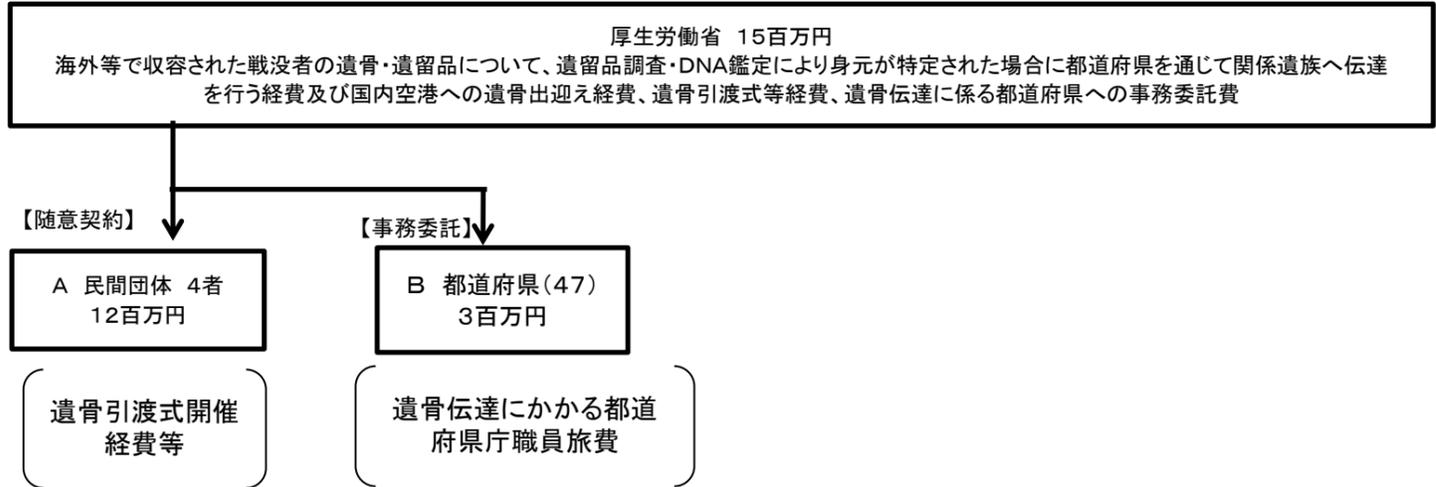
事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	・遺族への遺骨伝達は、国の責務として行われるものであり、遺骨の帰還を待ち望む戦没者遺族のニーズを直接に満たす取組である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	・戦没者遺骨の遺族への返還は、国の責務によって実施すべきものである。また、遺族へ引き渡すことのできない遺骨は、国において千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納骨している。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	・遺族への遺骨伝達は、遺骨の帰還を待ち望む戦没者遺族を慰藉するために非常に重要な取組であり、優先度は高い。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・一般競争入札を実施し競争性の確保に努めているが、一部について遺骨のDNA鑑定の専門的知識を有し、かつ慰霊事業を深く理解している業者が限られているため予算決算及び会計令に基づき随意契約を行っている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	・遺族へ遺骨を伝達するために必要最低限の経費を計上している。また、事業実績に基づき、必要経費の見直しを行っている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	・事業実施にあたり必要なものだけに限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	・遺骨収集帰還事業による収容遺骨数が見込みを下回り、それに伴いDNA鑑定数が減少したため。			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	・複数地域から同時期に収容された御遺骨について、引渡式の合同で実施している。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	△	・実績が目標を下回っているが、これは収容遺骨数が見込みを下回ったこと、および身元特定につながる遺留品の発見できなかったこと、DNA鑑定に時間を要したこと等が主な要因である。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・戦没者遺骨を遺族へ返還するため、厚生労働省保管資料をはじめ旧ソ連政府等や復員者提供の名簿、埋葬図を活用し調査を行っている。また、DNA鑑定は、検討会の報告を踏まえ一定条件を満たした場合に限定して実施している。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	・伝達件数について当初の見込みを下回ったため。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	以下のとおり、遺骨情報の収集→収容→ご遺族への伝達等という一連の取組となっており、役割分担されている。 ①海外未送還遺骨情報収集事業 ↓〔国内外において遺骨の情報を収集する〕 ②遺骨収集帰還関連事業 ↓〔①で得られた情報をもとに遺骨収容を行う〕 ③遺骨伝達等事業 〔②で収容された遺骨について、御遺族への伝達や身元未判明遺骨の千鳥ヶ淵戦没者への納骨を行う。〕			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	厚生労働省社会・援護局		海外未送還遺骨情報収集事業			
厚生労働省社会・援護局		遺骨収集帰還関連事業				
点検・改善結果	点検結果	戦没者遺骨から採取する検体の状態により鑑定に必要なDNAの抽出の可否が左右され、かつ、DNA鑑定に時間を要しているため、当初見込みを下回っている。これを踏まえ、平成27年度予算において、伝達見込み件数の見直しを図った。				
	改善の方向性	遺骨伝達の実績が上昇していることから、この伝達の傾向を維持できるように引き続き注視しつつ必要な経費を精査し、適切に事業を実施していくこととする。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	461	平成23年度	419	平成24年度	363	
平成25年度	730	平成26年度	728			

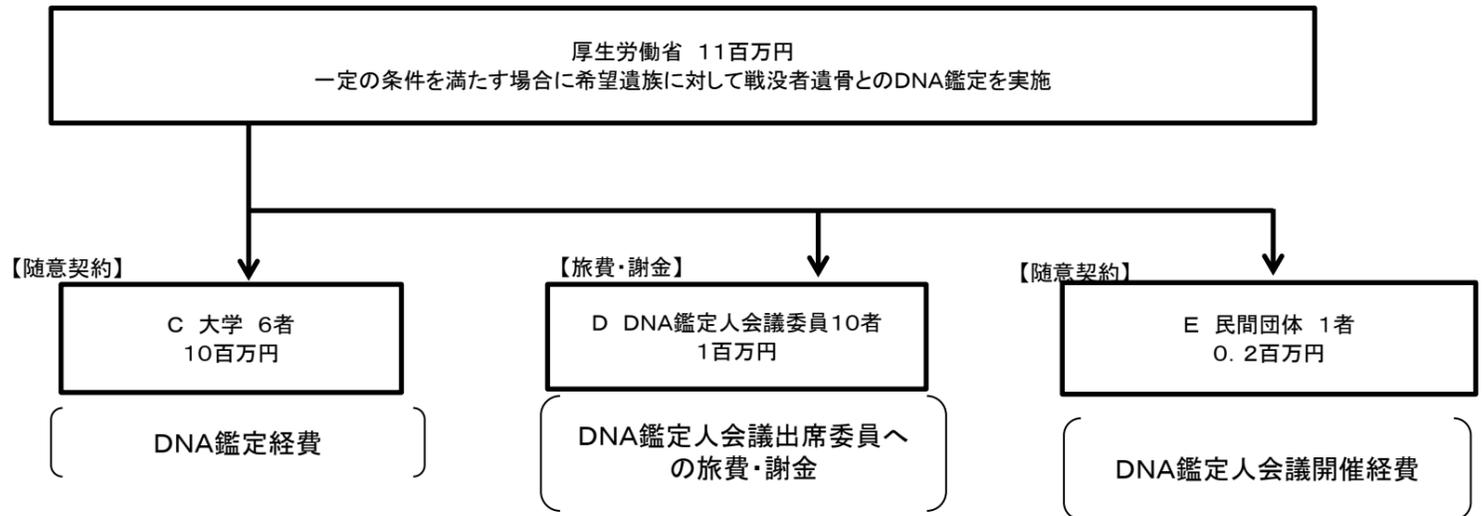
※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【平成26年度実績額】 97百万円

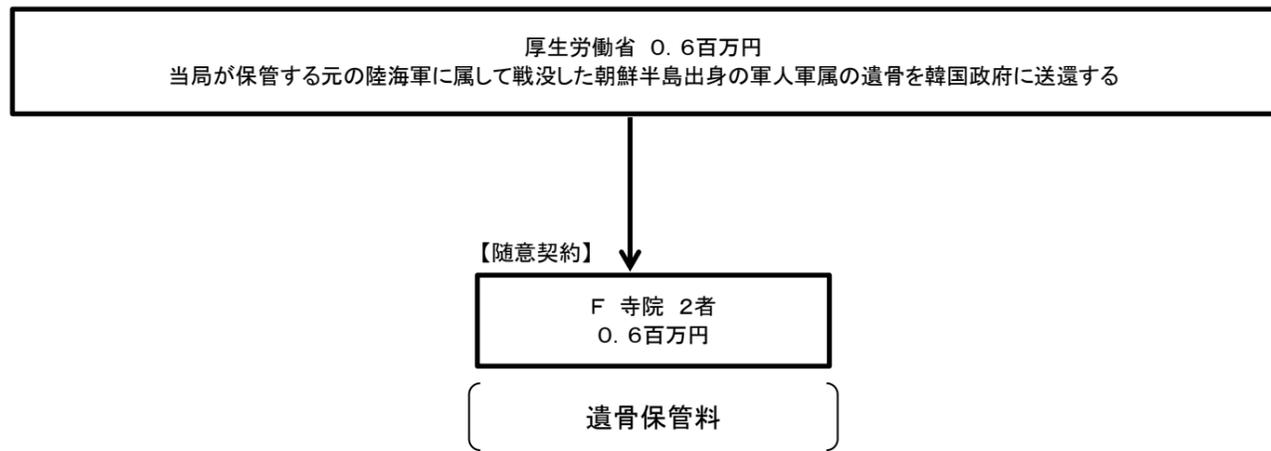
①遺骨遺留品の伝達



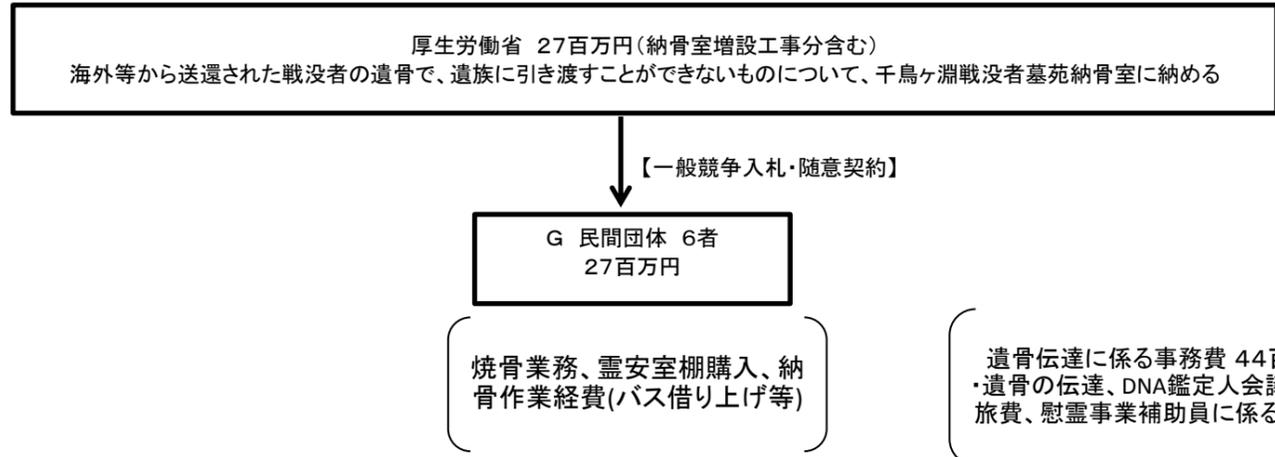
②DNA鑑定事業費



③朝鮮半島出身元軍人軍属遺骨送還



④千鳥ヶ淵戦没者墓苑納骨経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)日本旅行			E.百万円を超える支出が無いため省略		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	借料及び損料	遺骨引渡式にかかるバス借上等	5			
	計		5	計		0
	B.百万円を超える支出が無いため省略			F.百万円を超える支出が無いため省略		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.学校法人 慈恵大学			G.株式会社 A		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	戦没者遺骨等のDNA鑑定料	3	雑役務費	戦没者遺骨の焼骨経費	23
	計		3	計		23
	D.百万円を超える支出が無いため省略			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本旅行	遺骨引渡式に係るバス等借上料	5	随意契約	-
2	(株)ムラヤマ	遺骨引渡式会場設営	5	随意契約	-
3	(株)はなぜんフローリスト	生花等購入	1	随意契約	-
4	東京共済会館	遺骨仮安置室借上	0.4	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.3	-	-
2	北海道	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.3	-	-
3	熊本県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.2	-	-
4	広島県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-
5	愛媛県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-
6	青森県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-
7	大阪府	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-
8	宮崎県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-
9	大分県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-
10	高知県	遺族への遺骨伝達(都道府県職員旅費)	0.1	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人 慈恵大学	戦没者遺骨等のDNA鑑定	3	随意契約	-
2	国立大学法人 信州大学	戦没者遺骨等のDNA鑑定	2	随意契約	-
3	国立大学法人 福岡大学	戦没者遺骨等のDNA鑑定	2	随意契約	-
4	国立大学法人 山形大学	戦没者遺骨等のDNA鑑定	2	随意契約	-
5	学校法人 神奈川歯科大学	戦没者遺骨等のDNA鑑定	1	随意契約	-
6	学校法人 日本大学	戦没者遺骨等のDNA鑑定	0.3	随意契約	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	DNA鑑定人会議	0.2	-	-
2	個人B	DNA鑑定人会議	0.2	-	-
3	個人C	DNA鑑定人会議	0.2	-	-
4	個人D	DNA鑑定人会議	0.1	-	-
5	個人E	DNA鑑定人会議	0.1	-	-
6	個人F	DNA鑑定人会議	0.1	-	-
7	個人G	DNA鑑定人会議	0.1	-	-
8	個人H	DNA鑑定人会議	0.1	-	-
9	個人I	DNA鑑定人会議	0.1	-	-
10	個人J	DNA鑑定人会議	0.1	-	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)扶桑速記印刷	DNA鑑定人会議速記	0.2	随意契約	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(宗教)金乗院	遺骨保管料	0.3	随意契約	-
2	(宗教)祐天寺	遺骨保管料	0.3	随意契約	-

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 A	戦没者遺骨の焼骨	23	1	100%
2	(株)竹中工務店	納骨室の点検	2	随意契約	-
3	(株)三浦観光バス	遺骨の移送に係る車輛借上	1	随意契約	-
4	(有)龍黄社	遺骨壺の購入	0.4	随意契約	-
5	(株)ムラヤマ	遺骨の移送に係る台車借上	0.3	随意契約	-
6	(株)立建設	納骨室開閉作業	0.1	随意契約	-